

簡単水やりシステム
(自動灌水)

メンテナンスの手引き

株式会社 タカギ

作業内容

作業内容

1. 季節毎の灌水時間の設定

2. 電池の交換（1年に1回）

3. 本体内部(あみ付きパッキン)のメンテナンス（適宜）

4. 雨センサーのメンテナンス（適宜）

※凍結の恐れがある場合

1. 季節毎の灌水時間の設定

① .1日1回30分を目安(春・秋)として、季節や土壤環境、植栽状況等に応じて、季節毎に灌水時間の設定を行います。

※植栽直後は、こまめに灌水状況を確認して下さい

例:夏は「水やり間隔」や「水やり時間」を増やす、冬は「水やり間隔」や「水やり時間」を減らす、水はけの悪いところでは「水やり間隔」や「水やり時間」を減らすなど

現在時刻及び、水やり予約の設定は、以下の一連の操作で行います。

① 設定変更開始 → ② 現在時刻の設定 → ③ 水やり間隔の設定
→ ④ 水やり時間の設定 → ⑤ 設定完了

例) 現在時刻10:30、1日1回朝6:00から15分間水やりしたい場合

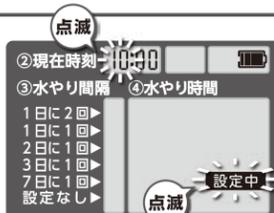
1 設定変更開始

電池セット、または **設定変更開始** ボタンを押すと現在時刻設定を開始します。(電池のセットについてはP.8『5.電池のセット』をご参照ください。)

2 現在時刻の設定

②-1. 現在時刻の『時』を設定

▲ ボタン又は **▼** ボタン
を押して『時』を選択し、
決定 ボタンを押します。



②-2. 現在時刻の『分』を設定

▲ ボタン又は **▼** ボタン
を押して『分』を選択し、
決定 ボタンを押します。



②-3. ③ 水やり間隔の設定へ進む

現在時刻の点滅が止まり、水やり間隔の表示が点滅します。

作業手順

2. 電池の交換

- ① 年に1回、電池の交換をします。
電池寿命の目安は約1年(1日2回水やりをした場合)となっております。
- ② ただし、上記によらず液晶パネルに「交換」表示が点滅した場合や表示が無くなった場合には、速やかに電池の交換をして下さい。
- ③ 1ヶ月に1回程度の電池残量液晶パネルの確認をおすすめします。

□ 取りはずし

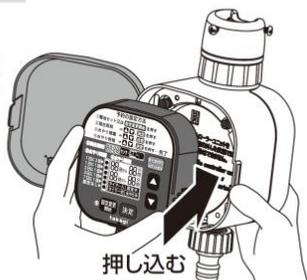
コントローラーユニットの上部を持って、手前に倒すように本体ユニットから引き抜きます。



※取りはずした状態では、予約による水やりや、手動による通水、止水操作はできません。

□ 取り付け

コントローラーユニットを本体ユニットへ押し込みます。



⚠ 注意

水が出たままの状態となります——
水やり中は取りはずさないでください。万が一取りはずしてしまった場合は、再度コントローラーユニットを取り付けて、「出す/止まる」ボタンを押して、手動で止めてください。

⚠ 注意

故障の原因になります——
接続端子部に水が入らないよう注意してください。万が一水が入った場合は、充分に乾かした後、取り付けてください。

1 電池カバーを取りはずす

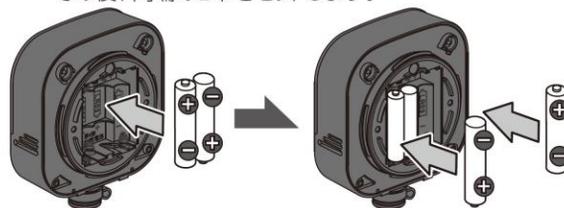
コントローラーユニット裏側の電池カバーを反時計回りにまわして取りはずします。

ゆるむ



2 単4形アルカリ乾電池(新品)を4本セットする

はじめに内側の2本をセットし、その後、両端の2本をセットします。



3 電池カバーを取り付ける

電池カバーを時計回りにまわして取り付けます。

⚠ 注意



故障や作動不良の原因になります——

- 電池の⊕と⊖を正しくセットしてください。
- 使用推奨期限内の新品電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 濡れた手で電池をセットしないでください。
- 電池カバーはしっかりと締め込んでください。
- マンガン乾電池や充電式の電池など、アルカリ乾電池以外を使用しないでください。

□ 電池交換の時期

液晶パネルに電池の残量の目安が下記のとおり表示されます。1ヶ月に1度は確認を行い、早めの交換をおすすめします。



(点灯)：電池残量あり



(点灯)：電池残量あり



交換 (点灯)：電池交換時期 ← この段階で電池を交換してください



交換 (点滅)

又は



(表示なし)

：操作及び水やり不可

※操作及び水やりができなくなります。速やかに電池を交換してください。

□ 電池寿命の目安

電池寿命の目安は約1年です。(1日2回水やりした場合)

□ 電池交換をしたら

全画面が点灯した後、現在時刻の設定画面に切り替わります。現在時刻は保持されませんので再度、設定を行ってください。設定方法はP.13~P.15『9.現在時刻、水やり予約の設定』をご参照ください。

※前回の水やり予約の設定内容は保持されます。

⚠ 注意

作動不良のおそれがあります——

電池の残量が残っている場合でも1年に1回は電池を交換してください。ただし使用環境や使用方法、電池性能によるため、電池寿命を保証するものではありません。

作業手順

- ① タイマーBOX(水栓柱用)をご利用の際には、電池交換後フタを閉じる際、タイマーを背面に向けて下さい。



3. 本体内部(あみ付きパッキン)のメンテナンス

- ① 本体内部のあみ付きパッキンの清掃をします(適宜)。あみ付きパッキンにゴミなどが詰まると、水量が少なくなる原因となります。

4. 雨センサーのメンテナンス

- ① 雨センサーの雨取込み口と内部の清掃をします(適宜)。雨取込み口や内部にゴミなどが詰まると機能が正常に動作しなくなる原因となります。

☐ 本体内部のお手入れ

- ① カクマルナット部を本体ユニットから取りはずし、あみ付きパッキンに詰まった異物を流水で洗い流します。

- ② あみ付きパッキンが正しい向きであることを確認してカクマルナット部を本体ユニットに取り付けます。



⚠ 注意

- 定期的にお手入れおよび機能の点検を行ってください。
- 各部品は紛失しないよう注意して正しく取り付けてください。

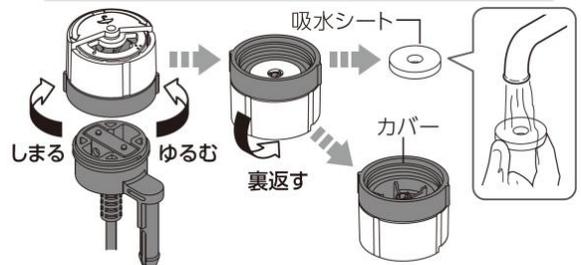
破損のおそれがあります

製品に洗剤や油などが付着するとプラスチック部分が割れる場合があります。

☐ 本体内部のお手入れ

雨取込み口や内部にゴミなどが詰まると機能が正常に動作しなくなるため、雨センサー本体のカバーを取りはずし、内部に詰まった異物を取り除き、再度取り付けます。

※汚れがひどい場合は各部品を流水で洗い流します。
※吸水シートの汚れがひどい場合は、補修部品(当社別売品)をお買い求めの上、取り替えて使用してください。



☐ 本体のお手入れ

製品が汚れた時は柔らかい布で水拭きしてください。

- 定期的にお手入れおよび機能の点検を行ってください。
- 各部品は紛失しないよう注意して正しく取り付けてください。

⚠ 注意

破損のおそれがあります

製品に洗剤や油などが付着するとプラスチック部分が割れる場合があります。

作動不良のおそれがあります

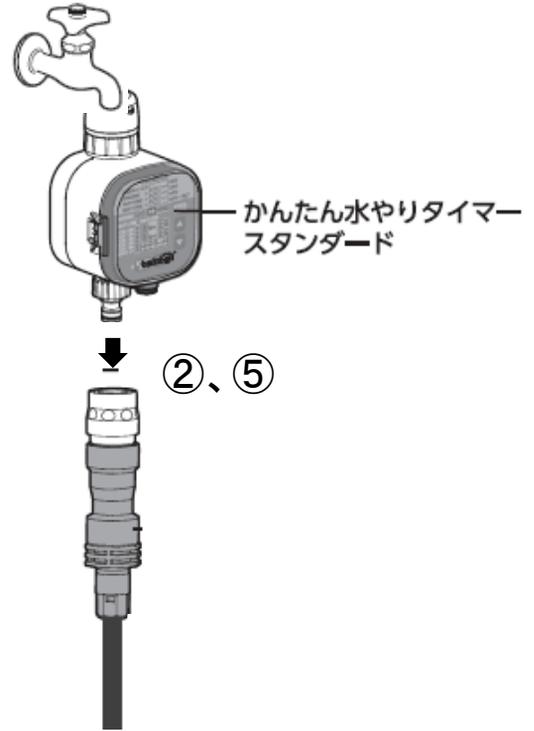
吸水シートは陰干しで十分に乾燥させてから取り付けてください。

作業手順

※凍結の恐れがある場合

冬季はタイマー及びホース内の水が凍結することがあります。
気温が氷点下に達する日が続く場合やタイマーを使用しない場合は、以下の手順をおこなうことをおすすめします。

- ①.蛇口を閉めます。
- ②.調圧ジョイントを引き抜きます。
- ③.タイマーの「すぐ水やりボタン」(水色)を押してタイマー内の水を抜きます。
(少量しか出ません)
- ④.もう一度タイマーの「すぐ水やりボタン」(水色)を押します。
※タイマー液晶表示の「水やり中」アイコンの点滅が消灯したことを確認して下さい。
- ⑤.調圧ジョイントを元に戻します。
- ⑥.灌水用のホースはそのままで構いません。



※その他取扱方法等の詳細については、「かんたん水やりタイマー」取扱説明書をご覧ください